

令和4年6月6日～6月12日までの全国の暑さ指数(WBGT)の観測状況 及び熱中症による救急搬送人員数と暑さ指数(WBGT)の関係について (令和4年度第6報)

1. 全国の暑さ指数(WBGT)の観測状況について

6月6日～6月12日の6都市(注1)の日最高暑さ指数(WBGT)の平均値は、おおむね「注意」を示す21以上25未満となりました。6都市の10年間平均値と比較すると、10日を除き低くなり、特に6、7日は3近く低くなりました(図1、表1参照)。

11都市(注2)で名古屋、大阪、高知、福岡、鹿児島、那覇で「警戒」を示す25以上28未満となる日がありました(表1、表2参照)。

全国を見ると、関東地方以南で25以上、小笠原地方では28以上、沖縄地方では31以上となる日がありました。

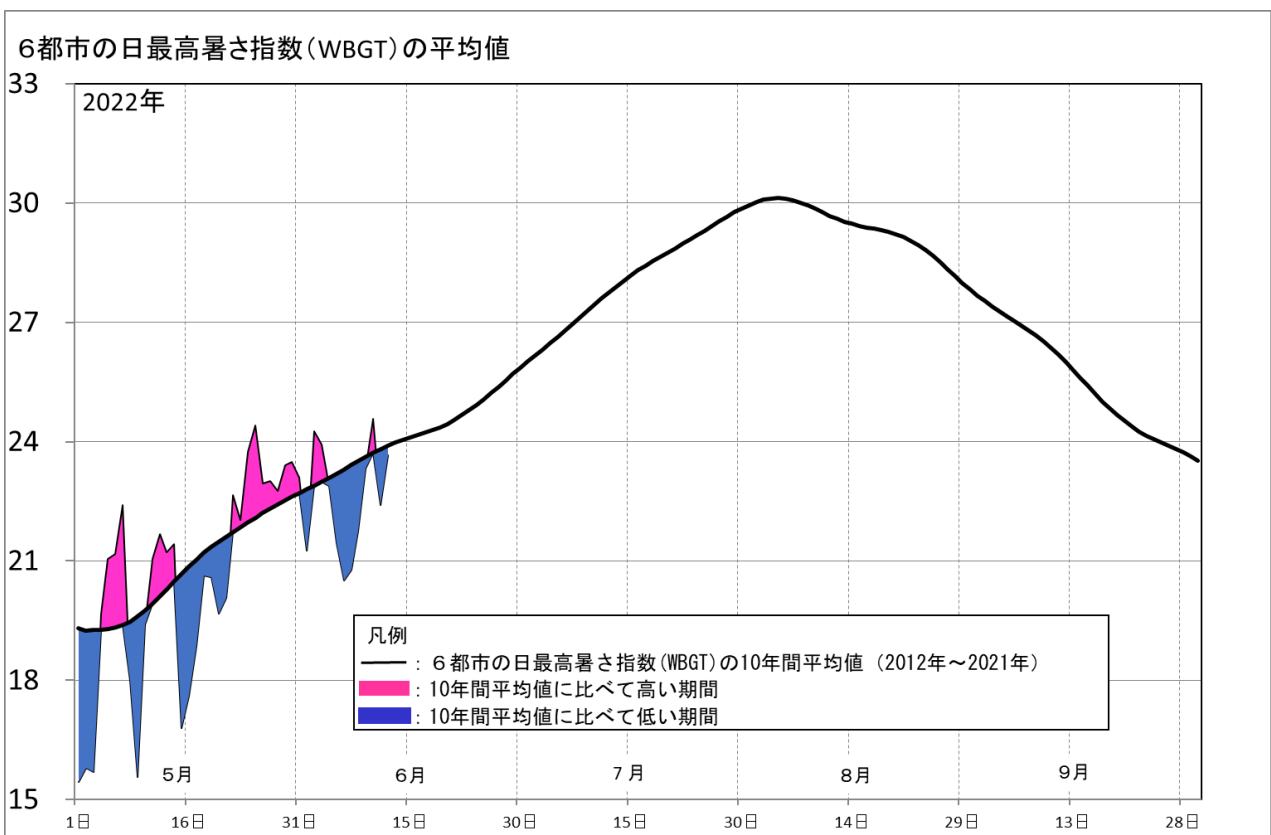


図1 全国の暑さ指数(WBGT)の動向と過去10年間平均値との比較

表1 全国11都市(注2)の日最高暑さ指数(WBGT)(6月6日～6月12日)(注3)

日	札幌	仙台	新潟	東京	名古屋	大阪	広島	高知	福岡	鹿児島	那覇	6都市平均
6	16.5	14.2	17.3	17.2	21.0	21.2	23.4	27.4	23.0	25.5	27.7	20.5
7	16.7	14.9	18.4	19.6	21.3	21.7	20.7	23.3	23.0	24.9	26.4	20.8
8	15.9	13.2	19.7	19.0	23.0	23.2	22.1	22.8	23.5	26.8	26.6	21.8
9	17.9	19.0	20.8	22.6	24.7	23.4	23.3	24.8	25.1	27.2	23.3	23.3
10	18.5	20.8	22.4	23.4	25.3	25.5	24.4	26.4	26.4	27.0	27.8	24.6
11	19.2	22.6	22.5	24.7	22.6	21.8	20.9	20.6	21.9	21.4	26.6	22.4
12	16.4	19.6	19.8	24.3	24.9	23.3	24.3	25.4	25.3	25.7	27.1	23.7

注1 6都市：東京都、大阪市、名古屋市、新潟市、広島市、福岡市

注2 11都市：札幌市、仙台市、新潟市、東京都、名古屋市、大阪市、広島市、高知市、福岡市、鹿児島市、那覇市

注3 表1、表2の値は速報値であり、年度末に発表される確定値とは異なる場合があります。

表2 全国11都市の6月6日～6月12日の暑さ指数(WBGT)超過時間数(注3)

超過時間数	札幌	仙台	新潟	東京	名古屋	大阪	広島	高知	福岡	鹿児島	那覇
31以上	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
28以上	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
25以上	0	0	0	0	2	2	0	10	3	19	60

ほぼ安全	注意	警戒	嚴重警戒	危険
21未満	21以上25未満	25以上28未満	28以上31未満	31以上

2. 6都市の日最高暑さ指数(WBGT)と熱中症による救急搬送人員数(全国)との関係

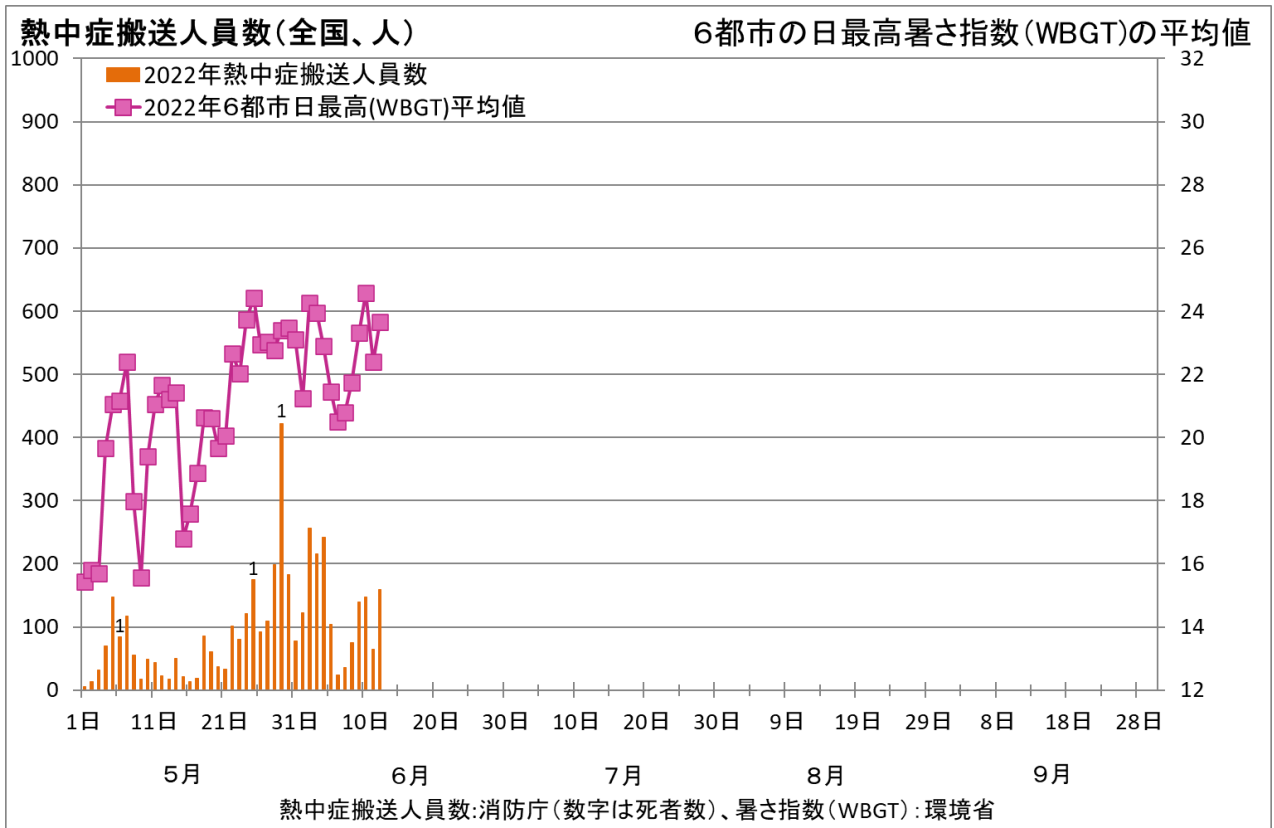


図2 6都市の日最高暑さ指数(WBGT)の平均値と熱中症搬送人員数の推移

6月6日から6月12日までの6都市(注1)の日最高暑さ指数(WBGT)の平均値は、おおむね「注意」を示す21以上25未満となりました。(表1、図1)。

消防庁発表の速報によると、熱中症による救急搬送人員数は、6月12日の159名が最高で、この期間の総数は645人となりました(図2)。

3. 全国の熱中症警戒アラートの発表状況

6月6日から6月12日までの熱中症警戒アラート発表状況は、以下のようになっております（表3）。

表3 全国の熱中症警戒アラート発表状況（6月6日から6月12日）

地方 ^{※1}	北海道	東北	関東甲信	東海	北陸	近畿
域内平均 ^{※2}	0	0	0	0	0	0
のべ回数	0	0	0	0	0	0
地方 ^{※1}	中国	四国	九州北部 ^{※3}	九州南部・奄美	沖縄	
域内平均 ^{※2}	0	0	0	0	0.5	
のべ回数	0	0	0	0	2	

※1：気象庁の地方予報区単位（別図参照）

※2：「地方内府県予報区の1週間ののべ発表回数」÷「地方内府県予報区数」

回数は前日17時、当日5時どちらかの発表で1回とカウント

※3：九州北部には山口県も含まれる

4. 今後の見通しと注意点

6月17日までは、東北地方以南では「警戒」を示す25以上、関東・北陸地方以南で「厳重警戒」を示す28以上、沖縄地方で「危険」を示す31以上になる地点がある見込みです。

気象庁の週間天気予報（6月15日発表、予報期間：6月16日～6月22日）によると、「最高気温と最低気温はともに、九州南部を除いて平年並か平年より高い日が多い見込みで、北日本ではかなり高いところもある見込みです。」となっております^{※4}。

※4：全国の地方週間予報から気温予報の概要を編集。詳しくは気象庁ホームページの最新情報を参照願います。

○気温変化が激しい状況が続いております。体の変化に順応できない中で、急に気温・湿度が高くなる日もありますので、熱中症には十分お気を付け下さい。特に体調の変化に気付きにくい高齢者や子どもさんには、積極的な声かけ等をお願いいたします。

